

六ヶ所村 内水ハザードマップ



発行 六ヶ所村 上下水道課
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾敷字野附 475 番地
TEL : 0175-72-2111 (代表) FAX : 0175-72-2603

令和 8 年 3 月

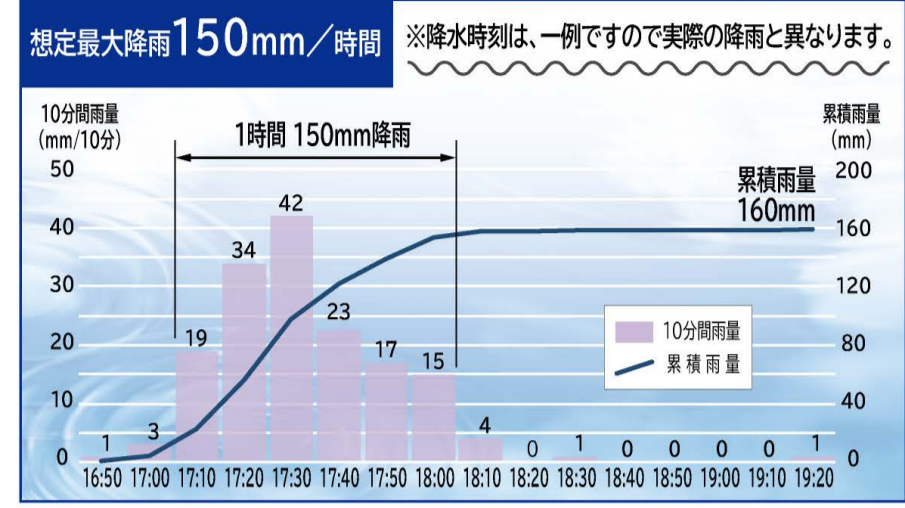
水害発生メカニズム

内水ハザードマップについて

短時間に非常に激しい雨が降ったときに、下水道や側溝などの排水能力を超えて雨水があふれ、道路や低い土地に水がたまって起きる浸水(内水は氾濫)について、そのおそれのある範囲と水の深さの目安を示した地図です。

六ヶ所村では、想定最大規模の降雨(例:1時間あたり150mm程度の非常に激しい雨)を前提に、公共下水道等の現在の整備状況をもとにシミュレーションを行い、浸水が想定される区域と浸水の深さを色分けして表示しています。

このマップを使って、冠水しやすい場所や危険な深さになるおそれのある場所を日頃から確認し、大雨が予想されるときは冠水の危険があるときには、無理な車での移動を避ける、地下や低いところにとどまらない、早めに安全な場所へ移動するなど、安全な避難行動に役立ててください。



内水氾濫と外水氾濫(洪水氾濫)の違い

内水氾濫について

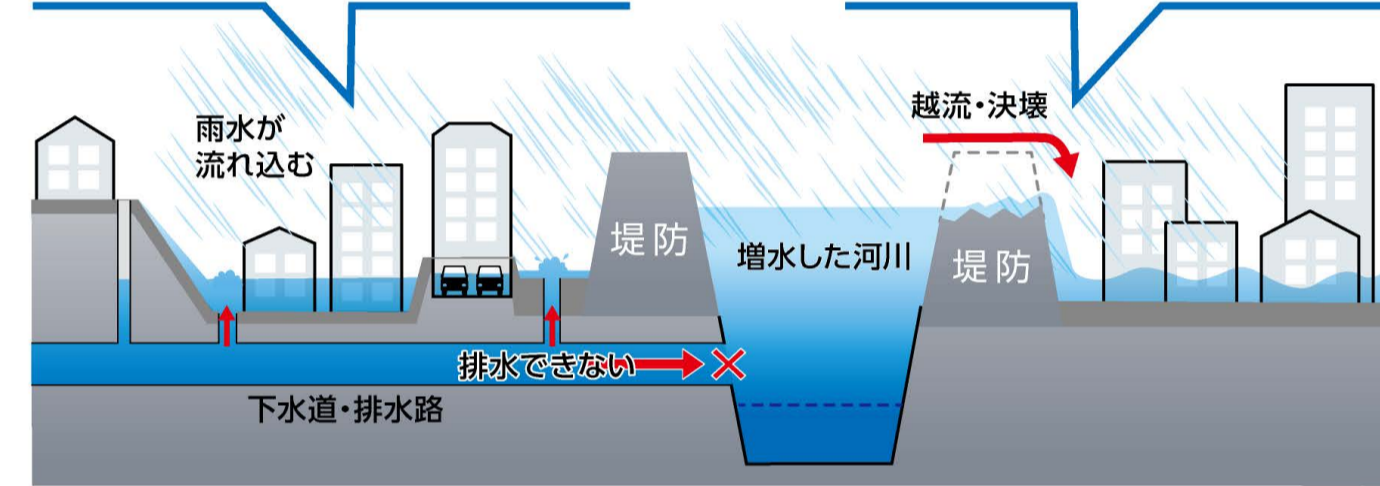
排水機能の不全が原因

大雨で一度に大量の雨が降ると、通常は下水道などを通して川へ流れる雨水が、川の水位の上昇で排水しにくくなり、下水道の排水能力を超えた水がマンホールなどからあふれしてしまう現象です。

外水氾濫について

河川の増水が原因

大雨により川の水かさが増えて堤防に強い水圧がかかり、堤防が耐えきれず一部が崩れると、その崩れた場所から勢いよく水があふれ出して住宅地などへ一気に流れ込む現象です。



非常時持ち出し・備蓄品リスト

防災の備え

- 避難の持ち出し品は日頃から準備し、すぐに持ち出せるリュックが便利です。
- 家族の誰もがすぐ持ち出せるように、わかりやすい場所に保管しましょう。
- 普段利用している食品、日用品を少し多めに備蓄し、古いものから消費して買い足すローリングストックがおすすめです。

- 非常食(カンパン、缶詰など)
- 飲料水
- 携帯ラジオ(予備の電池)
- 懐中電灯(予備の電池・電球)
- ヘルメット(防災ずきん)
- 炊事用品(鍋、やかん、包丁、缶切り等)
- ナイフ、缶切り、栓抜き
- ティッシュ、トイレットペーパー
- タオル
- ビニール袋
- 食器(箸、スプーン、皿、紙コップ等)
- 衣類
- 雨具
- 軍手
- 救急医薬品
- 救急医薬品(キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など)
- 常備薬
- おくすり手帳
- 貴重品(預貯金通帳、印鑑など)、現金
- 健康保険証、マイナンバーカード
- 子供用品
- 生理用品
- 運動靴
- マスク、アルコール消毒液、ウェットティッシュ
- スマホ、充電器

情報収集・感染対策

貴重品の確認

避難時の装備品

高齢者のいる家庭 / 女性に必要な物

子どものいる家庭

食料備蓄品

衛生用品

家庭用備蓄品

防災用衣類

ローリングストック

そなえる

かいたす

たべる

- 食品(缶詰、レトルト食品、ドライフードや栄養補助食品など)
- 食品(調味料、スープ、みそ汁など)
- 食品(チョコレート、のどあめ、梅干など)
- 水(1人当たり1日30)
- 燃料(卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベなど)
- 毛布、タオルケット、寝袋など
- 洗面用具(歯ブラシ、石けん、タオル、ドライシャンプーなど)
- ポリタンク、バケツ

避難情報の種類と避難行動

水害時に役立つ情報・心得を知りましょう

大雨時には、気象庁をはじめ様々な機関から防災情報が発表・発令されます。

1時間の雨量と降り方



行動の目安

情報収集 気象情報の収集、雨の継続中は地盤のゆるみに注意

自助 自分でできる予防措置

共助 地域防災への取組など

避難に関する情報に注意 予報・注意報などに注意

河川や水路など注意を要する箇所 土のうなどの準備や低地部の車の移動

初期の浸水 初期の浸水、地下空間から退避

避難の準備 状況に応じ、速やかな避難

状況により自主防災組織の活動への協力 状況により要配慮者への支援に協力

避難情報の種類と取るべき行動

警戒レベル

レベル1 (早期注意情報) レベル2 (大雨・洪水・高潮注意情報) レベル3 (高齢者等避難) レベル4 (避難指示) レベル5 (緊急安全確保)

避難情報等

災害の心構えを高める

ハザードマップ等で避難方法を確認する

危険な場所から高齢者等は避難

危険な場所から全員避難

命の危険直ちに安全確保!

住民がとるべき行動

市町村が災害の状況を把握に必要とするものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。また、警戒レベル4は相隣市町村等と連携して発表されたとしても、必ずしも関係先に呼びかける避難情報が発令されるものではありません。

警戒レベル5は、高齢者等以外の人も必要に応じて普段の行動を見直し始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

※このマップの浸水想定は目安であるため、状況に応じて適切な避難の判断をお願いします。

災害に備えた心構え

避難時の心得

避難前に備えた準備

自分がある場所にはどのような危険があるのか、ハザードマップなどを使って確認しましょう。

普段から非常持ち出し品の準備をしておきましょう。避難するときの荷物は、ひとつにまとめておきましょう。

最新の情報を収集

テレビ、ラジオ、携帯電話、防災行政用無線などから、最新の気象情報、災害情報、避難情報を収集しましょう。

速やかな避難

役場、消防署、警察署からの避難の呼びかけに注意しましょう。呼びかけがあった場合や、危険を感じたときは、速やかに避難しましょう。

危険な場所に近づかない

水があふれている川や水路は、危険ですので絶対に近づかないでください。

動きやすい服装

避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。

足下に注意

水面下の側溝や水路、マンホールに足を取られないよう、安全を確認しながら歩きましょう。

助けが必要な方には協力を

災害時、周りには自力ですぐに避難できない人がいます。隣近所と声を掛け合い、助け合いの気持ちを大切にしましょう。

無理はしない

避難が遅れた時は、無理に外に出ず、近くの丈夫な建物の2階以上に移動しましょう。

水面上の側溝や水路、マンホールに足を取られないよう、安全を確認しながら歩きましょう。

情報の入手・安否確認

雨の降り方によっては、必ずしも下記の防災情報が順番通りに発表・発令されるとは限りません。また、警報等が発令されたことに伴い、直ちに避難情報が発令されるわけではありません。

避難は「浸水が始まる前」「自主判断」「徒歩」が大原則です!

情報を正しく理解し、取るべき行動に結びつけることで、危険から身を守りましょう。

市民の皆さんの取るべき行動(避難行動の目安)

重大な災害が発生するおそれがある場合には避難情報が発令されますが発令がない状況でも危険を感じたら自主的な避難を開始する。

平常時に、内水浸水が起こった際の行動について家族で確認し、当マップで浸水が想定される区域と浸水の深さを確認しておきましょう。

屋内安全確保(垂直避難) 垂直避難は自宅や近くの丈夫な建物の2階以上に避難することです。

水平避難 水平避難は浸水の可能性がない避難場所や親戚・知人宅、職場等へ避難を行う事です。災害発生前に行動することが原則です。

立退き避難(水平避難) 立退き避難は「水平避難」が最も望ましいが内水ハザードマップにより屋内での安全を確保できるか等を確認した上で自らの判断により「垂直避難」を行うことも可能です。

事前に決める避難場所の例

宿泊施設、車中泊、在宅避難、避難所、知人や親戚宅

※避難行動は「水平避難」が最も望ましいが内水ハザードマップにより屋内での安全を確保できるか等を確認した上で自らの判断により「垂直避難」を行うことも可能です。

洪水に至る場合があるため、河川の水位情報に注意し、六ヶ所村防災マップを参照しましょう。

※このマップの浸水想定は目安であるため、状況に応じて適切な避難の判断をお願いします。

安全対策・避難時の注意点

浸水被害から家屋を守る

土のう・止水板 家庭にあるものを使って浸水被害を防ぐことができます

雨水ます・側溝の清掃 雨水ますの取出口付近や側溝にごみや落ち葉が詰まっていると浸水や道路冠水の原因となります。日頃から清掃をしましょう。

意外なところから浸水が発生します トイレやお風呂などから逆流した水が溢れる場合があります。水の上で怪を防ぐことができます。

ポリタンクとレジャーシートを合わせて浸水を防ぎます。

水のうと段ボール箱、レジャーシートを合わせて浸水を防ぎます。

プラントナーとレジャーシートを合わせて浸水を防ぎます。

大雨時に注意が必要な場所

川・水路の近く 柵のない水路では増水すると道路と水路の境界が分からず誤って流される危険があります。近づかないようにしましょう。

マンホール・側溝のふた 大雨時にはマンホールや側溝のふたが外れている場合があります。長めの棒などで安全を確認しながら避難をしましょう。

立退き避難・屋内安全確保

立退き避難(水平避難) 指定避難所: 安全な親戚・知人宅、安全なホテル・旅館

屋内安全確保(垂直避難) 3つの条件を満たしている場合

家屋の倒壊をもたらすような氾濫流や河岸侵食が発生するおそれがある堤防沿いの地域は、早めの立退き避難が必要です。

氾濫流、河岸侵食

情報の入手・安否確認

情報は待つだけでなく、積極的に取るようにしましょう

六ヶ所村 公式HP 防災情報 Pullフル型

六ヶ所村 公式LINEアカウント Pullフル型

緊急速報メール Pushフック型

六ヶ所村 防災情報(気象庁) Pullフル型

あおり防災ポータル Pullフル型

災害用伝言ダイヤル(171)・災害用伝言板(web171)

171 災害用伝言ダイヤル 電話で安否確認を確認する「声の伝言板」

171 にダイヤル

録音は1 再生は2

被災地の方の固定電話(市外局から)及び携帯電話・IP電話の番号をダイヤルしてください。

0175- - - -

ガイダンスに従い録音(再生)

web171 災害用伝言板 インターネットでお安否確認を確認する「web伝言板」

https://www.web171.jp/へアクセスまたは「web171」で検索

伝言を登録する被災地の方の電話番号を入力

ガイダンスに従い登録/確認

※確認時に他社の伝言板に伝言がある場合はリンクが表示されます。